



青於

青取之於藍 而青於藍



- ①最後まで がんばる子
- ②いろいろな方法を考えて 勉強する子
- ③こころやさしく たすけあう子
- ④うんどう大好き きたえる子
- ⑤のぞみは高く 夢に向かって努力する子
- ⑥こころのこもったあいさつができる子

運動会がんばりました!!

10月12日(日)秋晴れの中、多くの皆様に応援していただきながら、運動会を開催することができました。全児童による応援合戦や全校綱引き・リレー、低学年によるダンスや高学年のソーラン、親子競技など、一生懸命頑張る児童の姿に、たくさんの応援をありがとうございました。保護者の皆様には、当日の係のお手伝いや後片付けなど、御協力大変ありがとうございました。

10月20日(月)朝会 テーマ: 最後までがんばる子

10月12日はすばらしい運動会になりました。練習からみんなでつくりあげた運動会は、見ている保護者の方々や地域の方々に、感動を与えました。もちろん、私も心の底から感動しました。ありがとうございます。応援団、高学年の代表の皆さんには、休み時間もなく練習をたくさん頑張りました。そして、最後まで頑張った皆さん全員に拍手を贈ります。

今日の朝会は、「さいこうのこ」の「さ」最後までがんばる子のお話です。キーワードは「運鈍根(うんどんこん)」です。

皆さんは、ノーベル賞を知っていますか。毎年10月に「世界をよくするための学び」の御褒美として、世界中の人たちの中から選ばれ、6つの賞が贈られます。物理学賞、化学賞、生理学・医学賞、文学賞、平和賞、経済学賞です。今年は、2つの賞で日本人の方が選ばれました。化学賞は北川進さん、生理学・医学賞は坂口志文さんです。これまで、長い時間をかけて研究を続け、その研究の成果が称えられ、賞が贈られました。このお二人が、いつも心掛けていることや大切にしていることが、同じだったそうです。それが、「運鈍根」です。

「運」は、ちょっとした「めぐり合わせ」のことで、ラッキーな出来事や、ちょうどよいめぐり合わせのことです。例えば、新しい発明をしようと思ったときに、偶然ヒントになるものが見付かったり、助けてくれる優しい先生に出会えたりすることです。これは、自分が頑張っていても、神様がちょっと手伝ってくれるようなもので、運は「降ってくるもの」というより、頑張っている人にだけ訪れる「チャンス」のようなものです。

「鈍」は、諦めない「ねばり強さ」のことで、失敗しても気にせず、コツコツと続けることです。「鈍い(にぶい)」という字は、ここでは「失敗してもショックを受けず、めげずに頑張る」という良い意味です。例えば、算数の難しい問題が解けなくても、「まあいいやまた明日やろう!」と諦めずに、何度も何度も挑戦する力です。「失敗は、成功するための練習だ!」と思える力が「鈍」です。

「根」は、最後までやり抜く「やる気」のことで、「根っこ」のようにしっかりとやる気や強い気持ちのことです。「絶対にこれをやりたい!」「最後まで終わらせるぞ!」という、心の中にあるエネルギーです。途中で疲れたり、遊んでしまいたくなったりしても、「根」があれば、目標に向かってまっすぐ進み続けることができます。この「根」が一番大切で、「鈍(ねばり強さ)」もこの「根(やる気)」から生まれてくるのです。

このように、ノーベル賞をいただいたお二人はこの言葉を心にとどめ、失敗しても失敗しても、何度も何度もチャレンジしていったということです。2学期も、まだまだ行事が続きます。「運鈍根」で、最後までがんばる子を目指して、いつも笑顔あふれるたのしい学校にしていきましょう。

運動会には、来賓の皆様、高齢者の皆様など、地域のたくさんの方に足を運んでいただきました。そして、温かい声援を送っていただきたり、児童の頑張る姿を見ていたり、大変ありがとうございました。今後も御協力御支援のほど、よろしくお願ひいたします。



さいこうの運動会 10月12日



学校の様子などをHPでお知らせします。ぜひ御覧ください。

